



Rotary



2015-2016 年度

国際ロータリー会長 / K. R. ラビンドラン
2690地区ガバナー / 佐藤 芳郎

会長 / 河原 治子 副会長 / 田中 浩史
幹事 / 清原 正幸 会 計 / 田中 久雄

■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F
TEL: 0853-63-3232 / FAX: 63-5365 / IP: 050-5204-5816
URL: <http://hirata-rotary.jp/> Mail: office@hirata-rotary.jp
9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝祭日 休局)

■例会プログラム ■

例会日	卓話者	演題
4月14日	光人塾 塾長 岩谷 健一 様	「学校復帰を目指して ～ 光人塾の実践より」
4月21日	米山記念奨学生 達 夏 (ダシヤ) 様	自己紹介
4月28日	地区研修・協議会出席者	地区研修・協議会報告

■出席報告 ■

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前々回補正出席率
45	31	14 (5)	77.50%	— %

■欠席者 ■

榎野 / 石原俊 / 加藤喜 / 大谷良 / 原孝 / 三好 / 園 / 山口 / 園山 (山根 / 牧野 / 木村 / 遠藤 / 石原輝)

■来訪者 ■

なし

■メークアップ ■

4/7 佐々木・大島卓・伊藤・榎野・加藤喜・内田・田中浩・持田祐・曾田
石原俊・飯塚俊 (家庭集会)
4/10 河原 (出雲中央)

■次回例会受付当番 ■

(4月28日) 大谷厚郎 / 田中浩史 / 恒松克己
(5月12日) 三好洋平 / 内田節夫 / 遠藤 栄

■近隣クラブ例会情報 (メークアップを考えましょう) ■

月	出雲中央	4/18	松江南
火	出雲	6/21 6/28(休)	松江しんじ湖
水	大社	5/11	松江
木			松江東 5/12 6/23 6/30(休)
金	出雲南		

■会長挨拶 ■

大社RC・出雲中央RC記念式典に参加

去る 3/26(土)大社RC創立 55 周年記念式典に出席し、続いて 4/10 (日)出雲中央RC創立 25 周年記念式典に出席した。
5 クラブ会長・幹事が祝典を共にした。印象深く思った事を記したいと思う。祝宴に入り乾杯の後“これより 30 分間は静かに慎ましく祝いの酒などお召上がり下さい。その後親睦の交流をどうぞ”と。奇異に感じたが、日本流なればすぐに席を立ち、お酒を片手に動くのが普通の振舞い。欧米では当たり前前の礼儀であろう。例会行事に取り入れることによって、より上品に、よりウェーブを高くてロータリーのプライドを現すことになる。見習うべきことと思う。出雲中央クラブも早速にこれを取り入れられ“30 分間 慎ましく静かに”を執行された。
「25 周年を記念して」を演題として、タイ バンコクの元米山奨学生、プサコーン・タンサガーサクツイーさん(女性)が挨拶をし、米山奨学生として島根大学卒業をさせていただいたその恩返しを一生かけて、タイ国で頑張り現に、タイ米山学友会を創設していると話された。
ロータリー精神にあふれた人に出会い感激しばし。

■幹事報告 ■

1. 例会変更

○大社RC 5/11(水) 6:30～
早朝例会 (出雲大社清掃奉仕)

ビジター受付 11:30～12:30 事務局

○松江東RC 5/12(木) 移動例会

ビジター受付 12:00～12:30 定例会場 (ホテル一畑)

2. 本日 次年度 5RC 会長・幹事会が出雲RCホストにより武志山荘で開催されます。

当クラブ次期 田中浩史会長、小汀泰之幹事出席致します。

■次年度幹事報告 ■

○次年度委員会構成発表

■委員会報告 ■

出席親睦委員会 : 4月の会員誕生・
伴侶誕生・結婚記念 祝い



■スマイル ■

河原 (岩谷健一様、ようこそおいで下さいました。スピーチ宜しくお願いします。)

清原 (岩谷様、ようこそいらっしゃいました。スピーチ宜しくお願いします)

田中浩 (本日次年度委員会構成の発表がありました。どうぞよろしくお願い致します。)

お礼

小汀 (先日の母の葬祭には沢山の会員の皆様に参列頂き、また霊前にはご丁寧なる祭料、お供えを賜り誠にありがとうございました。)

■スピーチ・例会行事 ■

「学校復帰を目指して ～ 光人塾の実践より」

光人塾 塾長 岩谷 健一 様

私は島根県の教員に採用され、県内各地の学校で勤務してきました。一昨年度に退職して今年で光人塾 2 年目になります。



光人塾は平田文化館の隣にあり、不登校の子供たちの適応教室です。27 年度の通塾生は小学校 6 年生 1 名、中学生 23 名(3 年 15 名、2 年 7 名、1 年 1 名)でした。毎年 5 月、9 月、受験が近づくとき急増します。

相談事業のほか、学力とともに集団適応力を身につけて学校復帰を目指す目的で、学習指導と集団適応指導・生活指導を行っています。学習指導は復学に向けてマンツーマン指導を原則としていますが、職員数に限りがあり、自習の時間もあります。

集団適応指導・生活指導としては、栽培体験・釣り・音楽活動・絵手紙・はた織りなどを体験する「ふれあいタイム」や各種の「スポーツタイム」を取り入れたり、さんべ宿泊体験や平田福祉フェスティバル模擬店出店など生きる力を育む体験活動を行っています。

学校復帰を進めるため、新学期や行事を目標にチャレンジ登校をめざします。また新年度の再登校に向けて、毎年 3 月にはいったん退塾させていますが、新年度もすでに数名の相談が入っており、再登校や高校進学に向けていろいろな課題があります。